

Leçon 20



Point

ポイントはマーカーでチェックしておきましょう。



Check

チェックのところは、モニターを見ながら書き込みをしましょう。

Leçon 20 のメニュー

1. 直説法前未来
2. 関係代名詞 (2)

【自律学習コーナー】

1. 条件法過去
2. 直接話法と間接話法

1. 直説法前未来

まずは、前未来の作り方から見ていきましょう。



Check

前未来の作り方

前未来＝

danser の直説法前未来

j'	dansé	nous	dansé
tu	dansé	vous	dansé
il/elle	dansé	ils/elles	dansé

partir の直説法前未来

je	parti(e)	nous	parti(e)s
tu	parti(e)	vous	parti(e)(s)
il	parti	ils	partis
elle	partie	elles	parties

確認練習 : L20-1-1 (Exercice 1)

 Point

次に前未来の用法について見ていきましょう。前未来形は、未来のある時点までにすでに完了している出来事を表すのに用いられます。

Quand j'**aurai fini** mon travail, je rentrerai à la maison.

私は仕事が終わったら家に帰るでしょう。

Je **serai rentré** début novembre, en plein automne.

私は、秋まっただ中の11月初めには帰っているでしょう。

確認練習 : L20-1-2 (Exercice 2)

2. 関係代名詞 (2)

先行詞が関係節の主語や目的語になっている場合の関係代名詞については、すでに Leçon 5 で学習しました。ここでは、先行詞が関係節の間接目的語や状況補語になっている場合の関係代名詞について見ていきます。

 Check

先行詞が関係節の間接目的語や状況補語になっている場合の関係代名詞

1)

C'est un ami je pars en voyage.

(← C'est un ami. Je pars en voyage avec lui.)

私といっしょに旅行に出かける友達です。

2)

Voici le restaurant j'ai mangé avec Luc.

(← Voici le restaurant. J'ai mangé avec Luc dans ce restaurant.)

ここがリュックといっしょに食事をしたレストランです。

3)

Je te présenterai mon amie le frère est cuisinier.

私はきみにお兄さんがコックという友人を紹介しましょう。

Voilà le livre tu me parlais l'autre jour.
それが、先日きみが私に話していた本です。

もっと知りたい！ Quelques infos en plus!

前置詞が à の場合の関係代名詞

前置詞が à の場合は、関係代名詞は次のようになります。先行詞の性と数に応じて変化し、前置詞 à と縮約します。

	単数	複数
男性	auquel	auxquels
女性	à laquelle	auxquelles

C'est un problème. Je pense toujours à ce problème. →

C'est un problème auquel je pense toujours.

それは私がいつも考えている問題です。

関係代名詞 quoi を用いる場合

先行詞が ce, rien, quelque chose や前の文の意味内容のときは、「前置詞＋quoi」を用いる。

C'est juste quelque chose à quoi je pense.

それはちょうど私がいま考えていることです。

確認練習：L20-2-1 (Exercice 3)

【自律学習コーナー】

1. 条件法過去

まずは、条件法過去の作り方から見ていきましょう。複合過去や先ほどの前未来の作り方とよく似ています。



条件法過去の作り方

条件法過去＝

danser の条件法過去

j'	dansé	nous	dansé
tu	dansé	vous	dansé
il/elle	dansé	ils/elles	dansé

partir の条件法過去

je	parti(e)	nous	parti(e)s
tu	parti(e)	vous	parti(e)(s)
il	parti	ils	partis
elle	partie	elles	parties

確認練習 : L20-1-1 (自律学習)

確認練習 : L20-1-2 (自律学習)

用法

次に、用法について見ていきましょう。条件法現在と同じように、条件法過去にも大きく分けて3つの用法があります。



- 1)
- 2)
- 3)

1) J'**aurais dû** venir en moto.

バイクで来るべきだった。

Vous **auriez pu** me le dire plus tôt!

私にそれをもっと早く知らせることができたでしょうに。

2) Si j'avais travaillé dur, j'**aurais réussi** et je serais satisfait.

一生懸命に勉強していたら、合格して満足しているところなのに。

3) Elle m'a dit qu'elle **aurait fini** ses études l'année suivante.

彼女は次の年に卒業するだろうと私に言った。

それぞれの用法を順に見ていきましょう。最初の用法は？

 **Check** 用法 1: 過去の事実の断定を避け、語調を和らげる。

J' _____ venir en moto.

バイクで来るべきだった。

Vous _____ me le dire plus tôt!

私にそれをもっと早く知らせることができたでしょうに。

確認練習 : L20-1-3 (自律学習)

もっと知りたい! Quelques infos en plus!

推測, 伝聞をあらわす用法 (2)

条件法現在のところでも紹介しましたが、放送や新聞では、断定を避けるために条件法が使われます。こうした「推測, 伝聞をあらわす用法」は、条件法過去でも用いられることがあります。

Un OVNI **se serait écrasé** en Russie.

UFO がロシアに落ちたらしい。

さて、条件法過去の2番目の用法は？そしてそのパターンは？

 **Check** 用法 2: 過去の事実と反する仮定の結果をあらわす。

Si + _____ ,

Si j' _____ dur, j' _____ et je serais satisfait.

一生懸命に勉強していたら、合格して満足しているところなのに。

Si j' _____ que l'école était si importante, j' _____ plus d'efforts.

学校が大事であるということを知っていたなら、もっと頑張っていたのに。

 Point

条件法現在は、英語の「仮定法過去完了」にあたるんだね。条件法過去は「もし～だったら」という条件節で用いるのではないことに要注意だよ。条件節では直説法大過去を用い、条件法過去は結果節（「～だろう」）で用いるんだよ。

次の確認練習の前に、ここで、直説法大過去の活用形の作り方（Leçon 15）を復習しておくといいかもね。

確認練習：L20-1-4（自律学習）

条件法過去の用法，最後はこれです。

 Check

用法 3: 過去における未来完了（→時制の一致）

主節	従属節		主節	従属節
現在	前未来	→		

Elle m'a dit: « J'aurai fini mes études l'année prochaine. »

→ Elle m'a dit qu'elle ses études l'année suivante.

彼女は次の年に卒業するだろうと私に言った。

2. 直接話法と間接話法

直接話法の文を間接話法の文であらわすとき，平叙文，疑問文，命令文でそれぞれ次のような原則があります。

 Check

1) 平叙文の間接話法

Il m'a dit: « Je t'aime. »

→ Il m'a dit

彼は私に愛していると言った。



2) 疑問文の間接話法

Il m'a demandé: « Est-ce que tu m'aimes? »

→ Il m'a demandé .

彼は私に彼を愛しているかどうかたずねた。



3) 命令文の間接話法

Il m'a dit: « Écoute-moi bien. »

→ Il m'a dit .

彼は私に自分の言うことをよく聞きなさいと言った。

確認練習 : L20-2-1 (Exercice 1) (自律学習)

Exercice Synthétique